

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	重症妊娠高血圧症候群の当院での再発率の調査
研究責任者	産科 清水陽彦
研究実施体制	単施設での研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2023 年 8 月 31 日
対象者	2017 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までの期間に当院で分娩した妊婦のうち、妊娠高血圧症候群となった妊婦。
研究の意義・目的	当院は総合周産期センターであり、妊娠高血圧腎症の症例をしばしば経験する。中でも、36 週未満の早産期に妊娠高血圧腎症のために分娩とせざるを得ない症例も多数存在し、母児ともに重篤な合併症を来す症例もある。2022 年 4 月より当科でも重症妊娠高血圧腎症の既往のある妊婦に限って予防的アスピリンの内服を開始している。院内で経験した重症妊娠高血圧腎症の再発する割合を把握することで、今後の妊娠経過の予測や早期介入・治療に役立つと考えられる。
研究の方法	後方視的観察研究。上記対象者のうち、さらに妊娠高血圧腎症の診断となった群を抽出し、初産・経産、分娩時年齢、身長、体重、尿蛋白／尿蛋白クレアチニン比などのデータ、妊娠高血圧腎症の診断時期、分娩週数、妊娠高血圧腎症の既往歴の有無、併存症の有無、児の出生体重などを電子カルテから抽出する。 それらのデータのうち、経産婦で上記期間よりも前に分娩歴がある症例に関してはその症例もさかのぼって分娩歴の確認を行う。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 産科 (氏名)清水陽彦 TEL:053-474-2222(代表) 産科外来 9:00~17:00 平日